

【主題名】働くことの喜び 内容項目「C-(13) 勤労」

【教材名】たんぼぼ作業所（東京書籍 新しい道徳3）

＜あらすじ＞福祉施設「たんぼぼ作業所」で働く沢村くんは、川野修一くんを担当しているが、自分の仕事に自信が持てず、不安な日々が続いていた。ある日、作業の途中で修一くんがいなくなってしまう。沢村くんが公園にいた修一くんを見つけた翌日、修一くんの母からお礼の手紙が届く。手紙を読んだ後、沢村くんは、修一くんとの出会いから自分の仕事の意義や働く喜びについて考える。

【ねらい】

内容項目の理解

勤労の尊さや意義を理解し、勤労を通して社会に貢献しようとする道徳的価値について指導する。

児童生徒の実態把握

勤労の尊さや意義について理解しているが、自分の好みや経済性等で職業を選択しようとする等、勤労を通して社会に貢献することに消極的な生徒が多い。

本時のねらいを設定する

判断力 心情 実践意欲 態度

勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通して社会に貢献しようとする道徳的実践意欲と態度を育てる。

【学習指導過程】

段階	学習活動 ○主な発問 (◎中心発問)	考え議論する道徳ポイント集
導入	<p>1 本時のねらいとする道徳的価値について問題意識を持つ。</p> <p>○ 「人（私）は〇〇のために働く」の〇〇に入る言葉は何ですか。</p> <p>○ 働く目的が達成できたとき、どのような気持ちになると思いますか。</p> <p>2 課題をつかむ。</p> <p style="text-align: center;">働くことの喜びって何だろう。</p>	問題解決的な学習
展開	<p>3 働くことの喜びについて考える。</p> <p>○ ぼくは、どうしてたんぼぼ作業所に就職しようと思ったのですか。</p> <p>○ 胸がしめつけられるような思いとは、どのような思いだと思いますか。</p> <p>○ 不安そうな様子だった母親がぼくにお礼の手紙を書いたのはどうしてだと思いますか。</p> <p>◎ 仕事に対して、ぼくが少し分かりかけたこととは、どのようなことだと思いますか。</p>	多面的・多角的
終末	<p>4 自己の生き方について考える。</p> <p>○ 働くことの喜びについて、分かったこと、友達の考えを聞いていいなと思ったこと、これからの生活に生かしていきたいことについて書きましよう。</p>	自分との関わり 終末の工夫

【板書計画】

第〇回 道徳
「たんぼぼ作業所」
人は〇〇のために働く
私は

働くことの喜びって何だろう。

働いている
ぼくの挿絵

→ 仕事

← 不安
手紙

修一くん
母親

母親からの手紙を
読んでいる挿絵

- ・お金
- ・自分
- ・家族
- ・生きる
- ・地域
- ・物を買う

- ・人の役に立ちたい
- ・障がいのある子どもたちとの触れ合いが忘れられない。
- ・頑張っているのに、うまくいかない。
- ・どうしたらよいか分からない。
- ・やめてしまいたい。

- ・修一くんが変わってきて嬉しい
- ・修一くんのために一生懸命働いている

- ・頑張っていることは相手に伝える。
- ・自分の仕事の大切さ
- ・自分の仕事は修一くと母親の大きな支えになっている。

【評価】

働くことの喜びについて、自分との関わりの中で考える学習を通して、これからの生き方に生かそうとしていたか。